

## 避妊手術（卵巣子宮摘出術）

不幸な仔犬や仔猫を減らすだけでなく様々な病気の予防にもなります..

望まない妊娠を防ぐ一番の方法は不妊手術（♂は去勢、♀は避妊）を受けることです。避妊手術とは一般的に、卵巣と子宮を取ってしまう手術（卵巣子宮摘出術）です。これによって永久的に不妊（妊娠しない）となり、基本的に発情もなくなります。

（但し、避妊手術は100%発情を防止することを保証する手術ではありません。最新の論文では代替卵巣が出現して卵巣子宮摘出術を行っても、再び発情がくる動物も非常にまれですが、いることが判ってきました。）



### この手術について..

卵巣子宮摘出術というのは外科的に雌の卵巣と子宮を取ってしまうことを意味する医学的用語です。もし、子宮を取っても卵巣を取らなければ、妊娠はしないけれども、やっかいな発情が残ります。手術は通常5~9ヵ月齢から行います。

この手術は日常的に行われていますが、全身麻酔と完全な無菌的な手技を要する腹部の手術なのです。妊娠を防止し、発情周期をなくす事が手術の主要目的ですが、激しい子宮の感染や卵巣や子宮の癌、ある種の皮膚病の治療のためにも行われます。

#### ■この手術の利点

- 望まない子犬子猫の出産の防止。発情周期がなくなる。
- 老齢犬、猫にみられる子宮感染症が起こらなくなる。
- 乳癌の発生率の低下（最初の発情がくるまでに不妊手術を受けると乳癌が減多に見られない）。
- 猫の場合特に行動範囲が狭まるので、病気の感染率や事故、けがの予防になる。

#### ■この手術の欠点

- 犬で非常に稀に尿失禁が起こる。（FAQ参照）



### 手術時の注意点など..

#### ■手術前後に考慮すべき事柄

・腸内寄生虫を駆除しておくこと。全てのワクチン（狂犬病や混合ワクチン）を手術前に済ませておくことが必要です。

**犬：7種混合ワクチン以上+狂犬病**

**猫：3種混合ワクチン以上**

・犬は心臓内寄生虫（フィラリア）を駆除しておく必要があります。未予防の方は検査で寄生の有無を調べて手術等の危険性を調べる必要があります。

・手術の為に来院する6~12時間前から食餌を与えないでください。胃の中に食物が残っていると麻酔をした時に嘔吐し、気管に詰まったりして危険になることがあります。食餌を抜くことが難しい方は、前日から入院させることもできますので、ご相談ください。

- ・手術当日の朝からは水を与えないで下さい。
- ・手術後1~2日運動を制限して下さい。
- ・当院では体に吸収される特殊な縫合糸を使用していますので基本的に抜糸は必要ありません。

#### ■帰宅後の注意

（次のようなときには、すぐに病院に連絡して下さい）

- ・糸を取ってしまったり、切開部をいじったりしている時
- ・家に帰った最初の日から、食餌をしなかったり、弱ってきたら
- ・その他一般的な健康状態が変化したら



### FAQ（よく受ける質問と回答）..

Q1. 不妊手術をすると太ったり、活動が鈍ったりしませんか？

A1. 肥満というものはカロリーを取り過ぎによって起こるのです。正しい食餌と運動によってコントロールできます。避妊手術を終えたらカロリー要求量が低下しますので、今までと同じ食餌内容や量を与えていたのでは肥満になる可能性があります。避妊手術をした後に肥満になったというのは手術をした後に今までと同じ食餌を与えるという無知な飼主の行動が原因です。今迄より食餌の量を減らしたり、専用の餌を使われるといいでしょう。当院では食餌に関する相談も受け付けています。お気軽にご相談ください。

Q2. この手術によって、性格や知能が変化しませんか？

A2. 犬の性格というものは、1~2歳になるまでは十分に発達しません。もし早い時期に不妊手術をしてその後に性格が変化したのであれば、その事は手術しなくても起ったものと考えられます。

Q3. 不妊手術を行うことで何か問題は起こりますか？

A3. 犬において、非常に稀に見られることですが、年をとった時に尿失禁が起こることがあります。しかし、これは薬物によって通常コントロールできます。

Q4. 1回ぐらい仔犬や仔猫をませた方が良いでしょう？

A4. 仔犬、仔猫をませる事であなたや、あなたの犬や猫が得られる利点は何もありません。むしろ早期（生後6ヵ月以内）に避妊手術したほうが、乳癌の発生の確率を劇的に低下させてくれますので、繁殖の予定がない一般の方はなるべく早期に避妊手術を行う方が良いでしょう。

Q5. 避妊手術の危険度はどの程度ですか？

A5. 避妊手術自体に危険はありません。技術的にも確立されていますので、手術自体の危険はほぼ0%と言ってもいいでしょう。但し、手術を行うには全身麻酔が必要となります。全身麻酔に関しては今のところ残念ながら危険度0%とは言えません。現在の統計では、一般的に健康あるいはそれに準ずる犬や猫に全身麻酔を行った場合の危険度は0.1%とされています。すな

はち、外見上健康あるいはほぼ健康な犬や猫に麻酔をした場合にその麻酔が原因で死亡する確立は1000頭に1頭だということになります。そのためこの危険度を低める為に当院では、手術中のモニターや手術前の検査、吸入麻酔等様々な安全策を講じていますので、統計的な確立よりもはるかに安全に手術が行えます。

## 料金など..

(2006.09.01現在)

**犬：34,650円** (税込：消費税1,650円)

**猫：29,400円** (税込：消費税1,400円)

注) 料金に含まれるもの！

○犬：手術前の肝臓一般血液検査料、導入麻酔料、全身吸入麻酔料、手術料、注射料、入院料、内服薬など

○猫：手術前の肝臓一般血液検査料、導入麻酔料、全身麻酔料、手術料、注射料、入院料、内服薬など

\*一般的に必要なものはすべて料金に含まれておりますが、より安全に手術を行うには、オプションとして腎臓、その他内臓の血液検査、心電図検査、レントゲン検査、超音波検査などを行い手術をすることをお勧めします。オプション料金など詳しくはスタッフにお気軽に尋ね下さい。

## その他の注意事項..

\*妊娠動物、発情期の動物、体重15kg以上の犬に関しましては、別途割増料金(税込)を申し受けます。

(妊娠増；+5,250円)

(発情増；+5,250円)

(体重増；5kg毎 +5,250円)

\*手術前の肝臓一般血液検査を行います。動物によっては性格的に採血が行えない場合、検査ができないことがあります。この場合は手術を中止するか、納得して頂いた上で手術を行うこととなります。(この場合引き検査費用の2,100円をお戻致します。)

\*手術前にはすべての説明にご納得の上、手術同意書にサインをお願い致します。

\*避妊手術につきましては完全予約制です。手術は月曜～金曜で行います。事前に電話でご予約下さい。

**\*当日は上記の事前連絡事項を厳守して、午前9:30頃までに動物を病院まで連れてきて下さい。**(無断キャンセルは別途キャンセル料を申し受けます)

\*その他質問がございましたら診察時間内に、何なりとお尋ね下さい。

## 犬不妊助成金について..

彦根市では野良犬削減のため犬の避妊・去勢手術に助成金が支給されます。この助成は手術前に申請して許可をもらう必要がありますので、手術をお考えの飼主さん

はまず市役所にお問い合わせください。申請には今年度の狂犬病予防注射、登録等が終わっていることが条件となります。お忘れの方は当院にご相談ください。当院では1年中狂犬病予防注射が接種可能です。なお、今のところ猫への助成はありません。

### ●助成額(1頭あたり)

♀：15,000円、♂：7,000円



## ポイント..

### 初めての発情前に避妊手術をする利点..

ワンちゃんの場合、乳腺(おっぱい)にしこり(乳腺腫瘍)ができると約半分が悪性(癌)で半分は良性の腫瘍と言われています。この乳腺腫瘍はホルモンとの関係が分かっていて、最初の発情前に避妊した雌では、避妊していない雌の発生率の0.5%、2回目の発情前に避妊した雌の発生率は、8.0%。2回目の発情以降に避妊した雌の発生率は、26.0%であることが報告されています。また、2.5歳以降で避妊しても発生率に変化はありません。このことが、仔犬を生ませる予定がなければ一度も発情が来る前に避妊手術をしたほうが良いという根拠になっています。なぜなら乳腺腫瘍は雌犬の腫瘍の約50%をしめるほど最も発生率の高い腫瘍だからです。

現在はワンちゃんが長生きする時代です。長生きすればそれだけ腫瘍の発生リスクは高くなります。事前にこれらのことを知って避妊手術をされるとより効果的で、将来発生するであろう愛犬の健康的負担、飼育者の経済的負担などを軽減できます。

ちなみに猫は犬程乳腺腫瘍の発生率は高くなく、犬に比べると1/8程度です。但し、猫の場合やっかいなことに、一旦乳腺腫瘍ができるとその悪性(癌)の確立は約90%とされています。猫の早期避妊手術と乳腺腫瘍の関係に関する厳密な統計はありませんが、避妊していない猫は避妊している猫よりも7倍も多く乳腺腫瘍が発生することが分かっています。ですから猫も同じように一度も発情が来る前に避妊手術をするほうが乳癌の危険を減らせる可能性が非常に高いのです。

我々獣医師はただ子犬や子猫を生ませないということではなく、多くの論文や統計に基づき、様々な病気の予防やリスクの軽減という観点からも避妊手術をお勧めしています。どうせ避妊手術するのであれば早期に行うほうが利点が多いことを知っておいてください。「1度生ませてからが良い」なんていう根拠のない無責任なことを言う人がいますが、それであなたのワンちゃんや猫ちゃんが得られる利点は何もありません。

 **IIVC 吉岐動物病院 TEL 47-6767**

<http://www.ikikoku.com/pet.html>



◆携帯版ページQRコード <http://www.ikikoku.com/i-mode.html>

左のQRコードをバーコードリーダー搭載の携帯電話で読み取ると当院の携帯ページに簡単にアクセスできます。老岐の時刻表などもあって便利です..!